

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 宮城県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	精神医療センター（地方独立 行政法人宮城県立病院機構）	2	大崎市	大崎市民病院鹿島台分院	20
-	がんセンター（地方独立行政 法人宮城県立病院機構）	3	蔵王町	蔵王町国民健康保険蔵王病院	21
-	こども病院（地方独立行政法 人宮城県立こども病院）	4	川崎町	国民健康保険川崎病院	22
仙台市	市立病院	5	丸森町	丸森町国民健康保険丸森病院	23
石巻市	石巻市立病院	6	涌谷町	涌谷町国民健康保険病院	24
石巻市	石巻市立牡鹿病院	7	美里町	美里町立南郷病院	25
塩竈市	塩竈市立病院	8	女川町	女川町立病院	26
気仙沼市	気仙沼市立病院	9	南三陸町	南三陸病院	27
気仙沼市	気仙沼市立本吉病院	10	白石市外二町組合	公立刈田総合病院	28
登米市	登米市立登米市民病院	11	黒川地域行政事務組合	公立黒川病院	29
登米市	登米市立米谷病院	12	加美郡保健医療福祉行政 事務組合	公立加美病院	30
登米市	登米市立豊里病院	13	みやぎ県南中核病院企業 団	みやぎ県南中核病院	31
栗原市	栗原市立栗原中央病院	14			
栗原市	栗原市立若柳病院	15			
栗原市	栗原市立栗駒病院	16			
大崎市	大崎市民病院	17			
大崎市	大崎市民病院鳴子温泉分院	18			
大崎市	大崎市民病院岩出山分院	19			

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,032,718,630	
標準財政規模(千円)	467,579,649	
財政力指数	0.63114	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	161.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,542			
1 経常収益	6,542			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,542			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,542			
2 経常費用	6,542			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	98.9
材料費	-	-	24.7	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	-	-	9.0	12.7
経費	-	-	23.3	34.6
(うち委託料)	-	-	11.5	17.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,542			
(うち支払利息)	6,542	-	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	98.9
医業収支比率	-		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	がんセンター(地方独立行政法人宮城県立病院機構)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,032,718,630	
標準財政規模(千円)	467,579,649	
財政力指数	0.63114	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	161.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	76,998			
1 経常収益	76,998			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	76,998			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	76,998			
2 経常費用	76,998			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	76,998			
(うち支払利息)	76,998	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	
		病院名	こども病院(地方独立行政法人宮城県立こども病院)
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,333,899	
決算規模(千円)	1,032,718,630	
標準財政規模(千円)	467,579,649	
財政力指数	0.63114	
経常収支比率(%)	97.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.9
	将来負担比率(%)	161.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	87,972			
1 経常収益	87,972			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	87,972			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	87,972			
2 経常費用	87,972			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	87,972			
(うち支払利息)	87,972	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	仙台市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	52,286 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 地		
診療科数	25	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	467	86.2	84.9	83.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	30.7	31.3	29.4
感染症	8	2.2	3.3	3.0
計	525	79.6	78.5	77.5
平均在院日数(一般病床のみ)		9.5	9.5	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,082,159	
決算規模(千円)	520,569,286	
標準財政規模(千円)	276,061,307	
財政力指数	0.91	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	78.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.8
修正医業収益(千円)	14,826,882

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,231,236			
1 経常収益	17,230,509			
(1) 医業収益	15,789,735			
入院収益	10,914,541			
外来収益	3,708,382			
診療収入計	14,622,923			
その他医業収益	1,166,812			
(うち他会計負担金)	962,853			
(2) 医業外収益	1,440,774			
(うち国・都道府県補助金)	64,957			
(うち他会計補助・負担金)	1,046,826			
(うち長期前受金戻入)	102,767			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	727			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	18,559,831			
2 経常費用	18,367,012			
(1) 医業費用	17,482,353			
職員給与費	8,808,940	55.8	55.7	49.1
材料費	3,637,524	23.0	24.7	29.1
(うち薬品費)	1,567,465	9.9	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,070,059	13.1	11.0	12.7
減価償却費	1,634,670	10.4	9.0	8.4
経費	3,305,582	20.9	23.3	20.7
(うち委託料)	1,742,702	11.0	11.5	11.6
研究研修費	73,301			
資産減耗費	22,336			
(2) 医業外費用	884,659			
(うち支払利息)	266,982	1.7	1.4	1.2
(3) 特別損失	192,819			
損益				
経常損益	-1,136,503			
純損益	-1,328,595			
累積欠損金	9,954,999			
経常収支比率	93.8		97.7	98.8
医業収支比率	90.3		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	82.9		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,065,444
1 固定資産	26,223,088
(1) 有形固定資産	26,186,836
(2) 無形固定資産	36,252
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	4,842,356
(1) 現金及び預金	2,401,066
(2) 未収金及び未収収益	2,436,449
(3) 貸倒引当金()	61,778
(4) 貯蔵品	66,278
3 繰延資産	-
負債合計	27,157,274
1 固定負債	22,791,554
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	21,153,136
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,638,418
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,104,448
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	983,982
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	557,928
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,468,010
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,261,272
(1) 長期前受金	2,003,370
(2) 長期前受金収益化累計額()	742,098
資本合計	3,908,170
1 資本金	13,863,169
2 剰余金	-9,954,999
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-9,954,999
負債・資本合計	31,065,444
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,934,457	2,009,679
資本勘定繰入	670,844	834,693
計	2,605,301	2,844,372

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	63.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	石巻市
	病院名	石巻市立病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,921 m ²	指定病院の状況	救 感 輪
診療科数	9	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区 分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	140	74.0	75.9	73.2
療 養	40	76.5	64.5	31.4
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	180	74.6	73.4	63.9
平均在院日数(一般病床のみ)		18.2	17.4	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	147,214	
決算規模(千円)	211,185,988	
標準財政規模(千円)	39,624,080	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	102.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区 分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	4,615,455			
1 経 常 収 益	4,569,289			
(1) 医 業 収 益	2,607,484			
入 院 収 益	1,839,613			
外 来 収 益	499,267			
診 療 収 入 計	2,338,880			
そ の 他 医 業 収 益	268,604			
(うち他会計負担金)	194,428			
(2) 医 業 外 収 益	1,961,805			
(うち国・都道府県補助金)	2,765			
(うち他会計補助・負担金)	956,693			
(うち長期前受金戻入)	874,678			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	46,166			
(うち他会計繰入金)	46,166			
総 費 用	4,530,981			
2 経 常 費 用	4,519,244			
(1) 医 業 費 用	4,309,311			
職 員 給 与 費	1,670,868	64.1	55.7	61.3
材 料 費	469,355	18.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	126,099	4.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	343,256	13.2	11.0	8.2
減 価 償 却 費	888,172	34.1	9.0	10.2
経 費	1,266,019	48.6	23.3	30.5
(うち委託料)	653,249	25.1	11.5	13.0
研 究 研 修 費	12,132			
資 産 減 耗 費	2,765			
(2) 医 業 外 費 用	209,933			
(うち支払利息)	77,885	3.0	1.4	1.6
(3) 特 別 損 失	11,737			
損 益				
経 常 損 益	50,045			
純 損 益	84,474			
累 積 欠 損 金	5,991,549			
経 常 収 支 比 率	101.1		97.7	96.5
医 業 収 支 比 率	60.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	25.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	44.1		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	25.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	75.6		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区 分	決算額
資 産 合 計	13,695,557
1 固 定 資 産	12,763,917
(1) 有 形 固 定 資 産	12,763,917
(2) 無 形 固 定 資 産	-
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	-
2 流 動 資 産	931,640
(1) 現 金 及 び 預 金	330,549
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	556,179
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	-
(4) 貯 蔵 品	44,912
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	16,219,509
1 固 定 負 債	3,220,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,843,179
(2) そ の 他 の 企 業 債	377,162
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	-
2 流 動 負 債	1,040,714
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	378,045
(2) そ の 他 の 企 業 債	46,166
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	140,789
(6) リ ー ス 債 務	-
(7) 一 時 借 入 金	250,000
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	221,761
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	11,958,454
(1) 長 期 前 受 金	16,378,993
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	4,420,539
資 本 合 計	-2,523,952
1 資 本 金	3,976,021
2 剰 余 金	-6,499,973
(1) 資 本 剰 余 金	-
(2) 利 益 剰 余 金	-6,499,973
負 債 ・ 資 本 合 計	13,695,557
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	2,523,952
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	56.0
修正医業収益(千円)	2,413,056

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	610,148	1,197,287
資本勘定繰入	221,129	331,716
計	831,277	1,529,003

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	220.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	108,191
地財法上の資金不足比率(%)	3.6

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	石巻市
	病院名	石巻市立牡鹿病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	3,588 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	3	看護配置	その他
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	25	55.3	40.6	32.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	25	55.3	40.6	32.0
平均在院日数(一般病床のみ)		28.7	20.7	14.9

設立団体の状況		
人口(人)	147,214	
決算規模(千円)	211,185,988	
標準財政規模(千円)	39,624,080	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	102.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	40.2
修正医業収益(千円)	250,672

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	693,486			
1 経常収益	693,486			
(1) 医業収益	345,212			
入院収益	62,094			
外来収益	177,200			
診療収入計	239,294			
その他医業収益	105,918			
(うち他会計負担金)	94,540			
(2) 医業外収益	348,274			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	292,876			
(うち長期前受金戻入)	45,818			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	644,346			
2 経常費用	644,088			
(1) 医業費用	623,109			
職員給与費	235,434	68.2	55.7	80.8
材料費	111,066	32.2	24.7	13.8
(うち薬品費)	97,223	28.2	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,655	3.7	11.0	4.9
減価償却費	65,809	19.1	9.0	12.9
経費	208,781	60.5	23.3	47.4
(うち委託料)	60,381	17.5	11.5	20.7
研究研修費	954			
資産減耗費	1,065			
(2) 医業外費用	20,979			
(うち支払利息)	138	-	1.4	1.3
(3) 特別損失	258			
損益				
経常損益	49,398			
純損益	49,140			
累積欠損金	508,424			
経常収支比率	107.7		97.7	96.7
医業収支比率	55.4		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	55.9		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	112.2		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	55.9		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	47.5		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,695,557
1 固定資産	12,763,917
(1) 有形固定資産	12,763,917
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	931,640
(1) 現金及び預金	330,549
(2) 未収金及び未収収益	556,179
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	44,912
3 繰延資産	-
負債合計	16,219,509
1 固定負債	3,220,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,843,179
(2) その他の企業債	377,162
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,040,714
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	378,045
(2) その他の企業債	46,166
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	140,789
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	250,000
(8) 未払金及び未払費用	221,761
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	11,958,454
(1) 長期前受金	16,378,993
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,420,539
資本合計	-2,523,952
1 資本金	3,976,021
2 剰余金	-6,499,973
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-6,499,973
負債・資本合計	13,695,557
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,523,952

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	158,988	387,416
資本勘定繰入	12,562	25,123
計	171,550	412,539

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	220.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	108,191
地財法上の資金不足比率(%)	3.6

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	塩竈市
				病院名	塩竈市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,495 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	17	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	161	78.7	81.8	84.4
療養	-	49.9	78.6	88.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	161	75.9	81.1	85.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	17.0	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	54,187	
決算規模(千円)	24,294,107	
標準財政規模(千円)	12,231,772	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	98.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,811,482			
1 経常収益	2,811,096			
(1) 医業収益	2,469,145			
入院収益	1,502,240			
外来収益	631,127			
診療収入計	2,133,367			
その他医業収益	335,778			
(うち他会計負担金)	182,669			
(2) 医業外収益	341,951			
(うち国・都道府県補助金)	5,978			
(うち他会計補助・負担金)	234,823			
(うち長期前受金戻入)	84,826			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	386			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,810,396			
2 経常費用	2,803,295			
(1) 医業費用	2,735,437			
職員給与費	1,363,695	55.2	55.7	61.3
材料費	340,139	13.8	24.7	17.6
(うち薬品費)	186,719	7.6	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	123,216	5.0	11.0	8.2
減価償却費	135,544	5.5	9.0	10.2
経費	889,419	36.0	23.3	30.5
(うち委託料)	298,879	12.1	11.5	13.0
研究研修費	5,429			
資産減耗費	1,211			
(2) 医業外費用	67,858			
(うち支払利息)	1,355	0.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	7,101			
損益				
経常損益	7,801			
純損益	1,086			
累積欠損金	3,424,508			
経常収支比率	100.3		97.7	96.5
医業収支比率	90.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	14.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	85.4		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,649,866
1 固定資産	1,235,821
(1) 有形固定資産	1,235,675
(2) 無形固定資産	146
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	414,045
(1) 現金及び預金	18,593
(2) 未収金及び未収収益	385,244
(3) 貸倒引当金()	140
(4) 貯蔵品	10,348
3 繰延資産	-
負債合計	1,468,828
1 固定負債	347,560
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	347,560
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	469,981
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	71,518
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	6,500
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	44,000
(6) リース債務	931
(7) 一時借入金	170,000
(8) 未払金及び未払費用	160,361
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	651,287
(1) 長期前受金	958,439
(2) 長期前受金収益化累計額()	307,152
資本合計	181,038
1 資本金	3,593,643
2 剰余金	-3,412,605
(1) 資本剰余金	11,903
(2) 利益剰余金	-3,424,508
負債・資本合計	1,649,866
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.6
修正医業収益(千円)	2,286,476

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	270,608	417,492
資本勘定繰入	55,163	57,788
計	325,771	475,280

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	138.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	気仙沼市
				病院名	気仙沼市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,908 m ²	指定病院の状況	救臨感災輪		
診療科数	18	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	336	77.7	77.9	65.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	12.6	10.1	-
計	340	76.9	77.1	64.6
平均在院日数（一般病床のみ）		12.7	13.9	12.9

設立団体の状況		
人口（人）	64,988	
決算規模（千円）	76,733,077	
標準財政規模（千円）	17,904,610	
財政力指数	0.45	
経常収支比率（%）	101.3	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.5
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,769,766			
1 経常収益	9,769,587			
(1) 医業収益	7,943,465			
入院収益	4,355,185			
外来収益	3,225,176			
診療収入計	7,580,361			
その他医業収益	363,104			
(うち他会計負担金)	243,352			
(2) 医業外収益	1,826,122			
(うち国・都道府県補助金)	14,310			
(うち他会計補助・負担金)	661,666			
(うち長期前受金戻入)	1,059,954			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	179			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,658,999			
2 経常費用	10,652,437			
(1) 医業費用	10,073,953			
職員給与費	3,995,717	50.3	55.7	57.0
材料費	1,851,496	23.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,148,452	14.5	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	702,161	8.8	11.0	11.3
減価償却費	1,658,637	20.9	9.0	9.3
経費	2,479,284	31.2	23.3	22.1
(うち委託料)	1,251,129	15.8	11.5	11.1
研究研修費	15,928			
資産減耗費	72,891			
(2) 医業外費用	578,484			
(うち支払利息)	77,468	1.0	1.4	1.4
(3) 特別損失	6,562			
損益				
経常損益	-882,850			
純損益	-889,233			
累積欠損金	10,613,644			
経常収支比率	91.7		97.7	96.4
医業収支比率	78.9		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	11.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	9.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	83.2		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	24,534,038
1 固定資産	22,343,526
(1) 有形固定資産	20,832,924
(2) 無形固定資産	14,096
(3) 投資その他の資産	1,496,506
2 流動資産	2,190,512
(1) 現金及び預金	734,341
(2) 未収金及び未収収益	1,318,863
(3) 貸倒引当金（ ）	2,233
(4) 貯蔵品	137,440
3 繰延資産	-
負債合計	21,990,271
1 固定負債	4,627,465
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,528,238
(2) その他の企業債	2,072
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) リース債務	60,264
2 流動負債	2,182,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	498,518
(2) その他の企業債	1,372
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	349,397
(6) リース債務	27,236
(7) 一時借入金	620,000
(8) 未払金及び未払費用	680,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,180,197
(1) 長期前受金	17,752,487
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	2,572,290
資本合計	2,543,767
1 資本金	13,083,560
2 剰余金	-10,539,793
(1) 資本金剰余金	175,021
(2) 利益剰余金	-10,714,814
負債・資本合計	24,534,038
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	76.4
修正医業収益（千円）	7,700,113

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	786,031	905,018
資本勘定繰入	306,912	556,403
計	1,092,943	1,461,421

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	128.6
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	気仙沼市
		病院名	気仙沼市立本吉病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	1,902 m ²	指定病院の状況	
診療科数	5	看護配置	13:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	38	52.7	53.7	52.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	52.7	53.7	52.5
平均在院日数(一般病床のみ)		21.2	21.1	20.7

設立団体の状況		
人口(人)	64,988	
決算規模(千円)	76,733,077	
標準財政規模(千円)	17,904,610	
財政力指数	0.45	
経常収支比率(%)	101.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	585,667			
1 経常収益	585,585			
(1) 医業収益	396,569			
入院収益	172,385			
外来収益	202,931			
診療収入計	375,316			
その他医業収益	21,253			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	189,016			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	171,340			
(うち長期前受金戻入)	16,739			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	82			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	604,990			
2 経常費用	604,916			
(1) 医業費用	589,605			
職員給与費	314,075	79.2	55.7	80.8
材料費	48,399	12.2	24.7	13.8
(うち薬品費)	19,057	4.8	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,384	6.1	11.0	4.9
減価償却費	31,698	8.0	9.0	12.9
経費	193,599	48.8	23.3	47.4
(うち委託料)	82,136	20.7	11.5	20.7
研究研修費	849			
資産減耗費	985			
(2) 医業外費用	15,311			
(うち支払利息)	864	0.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	74			
損益				
経常損益	-19,331			
純損益	-19,323			
累積欠損金	114,075			
経常収支比率	96.8		97.7	96.7
医業収支比率	67.3		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	29.3		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	43.2		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	29.3		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	68.5		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,534,038
1 固定資産	22,343,526
(1) 有形固定資産	20,832,924
(2) 無形固定資産	14,096
(3) 投資その他の資産	1,496,506
2 流動資産	2,190,512
(1) 現金及び預金	734,341
(2) 未収金及び未収収益	1,318,863
(3) 貸倒引当金()	2,233
(4) 貯蔵品	137,440
3 繰延資産	-
負債合計	21,990,271
1 固定負債	4,627,465
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,528,238
(2) その他の企業債	2,072
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,891
(7) リース債務	60,264
2 流動負債	2,182,609
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	498,518
(2) その他の企業債	1,372
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	349,397
(6) リース債務	27,236
(7) 一時借入金	620,000
(8) 未払金及び未払費用	680,217
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	15,180,197
(1) 長期前受金	17,752,487
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,572,290
資本合計	2,543,767
1 資本金	13,083,560
2 剰余金	-10,539,793
(1) 資本剰余金	175,021
(2) 利益剰余金	-10,714,814
負債・資本合計	24,534,038
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	67.3
修正医業収益(千円)	396,569

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	190,663	171,340
資本勘定繰入	5,686	5,686
計	196,349	177,026

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	128.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	登米市
	病院名	登米市立登米市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	18,796 m ²	指定病院の状況	救災輪
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	198	69.3	60.2	59.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	198	69.3	60.2	59.1
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	21.0	20.8

設立団体の状況		
人口(人)	81,959	
決算規模(千円)	46,326,440	
標準財政規模(千円)	26,414,022	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	101.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.3
修正医業収益(千円)	3,478,093

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,785,474			
1 経常収益	4,647,937			
(1) 医業収益	4,088,345			
入院収益	2,034,884			
外来収益	1,303,054			
診療収入計	3,337,938			
その他医業収益	750,407			
(うち他会計負担金)	610,252			
(2) 医業外収益	559,592			
(うち国・都道府県補助金)	7,645			
(うち他会計補助・負担金)	398,461			
(うち長期前受金戻入)	91,343			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	137,537			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,092,708			
2 経常費用	5,034,998			
(1) 医業費用	4,812,694			
職員給与費	2,486,226	60.8	55.7	61.3
材料費	489,036	12.0	24.7	17.6
(うち薬品費)	252,493	6.2	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	233,693	5.7	11.0	8.2
減価償却費	335,329	8.2	9.0	10.2
経費	1,483,243	36.3	23.3	30.5
(うち委託料)	522,939	12.8	11.5	13.0
研究研修費	11,914			
資産減耗費	6,946			
(2) 医業外費用	222,304			
(うち支払利息)	60,586	1.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	57,710			
損益				
経常損益	-387,061			
純損益	-307,234			
累積欠損金	13,375,627			
経常収支比率	92.3		97.7	96.5
医業収支比率	84.9		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	21.7		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	21.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	72.3		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,865,779
1 固定資産	10,564,268
(1) 有形固定資産	10,177,661
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	385,319
2 流動資産	1,301,511
(1) 現金及び預金	411,162
(2) 未収金及び未収収益	782,111
(3) 貸倒引当金()	4,991
(4) 貯蔵品	28,004
3 繰延資産	-
負債合計	13,546,822
1 固定負債	9,356,632
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,472,461
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	390,000
(6) 引当金	2,494,171
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,793,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	491,126
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	276,832
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,550,000
(8) 未払金及び未払費用	423,601
(9) 前受金及び前受収益	16,330
3 繰延収益	1,397,095
(1) 長期前受金	2,235,092
(2) 長期前受金収益化累計額()	837,997
資本合計	-1,681,043
1 資本金	14,714,765
2 剰余金	-16,395,808
(1) 資本剰余金	158,157
(2) 利益剰余金	-16,553,965
負債・資本合計	11,865,779
不良債務	1,015,963
実質資金不足額	1,015,963
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,681,043
備考	283,948

当貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	877,591	1,008,713
資本勘定繰入	242,646	408,916
計	1,120,237	1,417,629

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	1,015,963	17.1
平成30年度	1,085,889	19.0
平成29年度	752,786	12.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	278.8
健全化法上の資金不足額(千円)	1,015,963
健全化法上の資金不足比率(%)	17.1
地財法上の資金不足額(千円)	1,015,963
地財法上の資金不足比率(%)	17.1

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	登米市
		病院名	登米市立米谷病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,823 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	4	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	56.8	59.9	71.4
療養	50	70.1	31.4	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	64.2	55.8	71.4
平均在院日数(一般病床のみ)		20.1	16.4	19.7

設立団体の状況		
人口(人)	81,959	
決算規模(千円)	46,326,440	
標準財政規模(千円)	26,414,022	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	101.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,088,870			
1 経常収益	1,074,469			
(1) 医業収益	817,638			
入院収益	436,845			
外来収益	226,699			
診療収入計	663,544			
その他医業収益	154,094			
(うち他会計負担金)	98,654			
(2) 医業外収益	256,831			
(うち国・都道府県補助金)	328			
(うち他会計補助・負担金)	167,595			
(うち長期前受金戻入)	79,018			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,401			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,575,923			
2 経常費用	1,213,562			
(1) 医業費用	1,174,517			
職員給与費	589,766	72.1	55.7	72.6
材料費	79,351	9.7	24.7	15.8
(うち薬品費)	45,102	5.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,664	4.1	11.0	5.6
減価償却費	85,262	10.4	9.0	11.1
経費	409,804	50.1	23.3	31.9
(うち委託料)	139,025	17.0	11.5	13.0
研究研修費	2,029			
資産減耗費	8,305			
(2) 医業外費用	39,045			
(うち支払利息)	13,527	1.7	1.4	1.7
(3) 特別損失	362,361			
損益				
経常損益	-139,093			
純損益	-487,053			
累積欠損金	2,329,982			
経常収支比率	88.5		97.7	97.4
医業収支比率	69.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	24.8		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	32.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	24.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	66.6		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,865,779
1 固定資産	10,564,268
(1) 有形固定資産	10,177,661
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	385,319
2 流動資産	1,301,511
(1) 現金及び預金	411,162
(2) 未収金及び未収収益	782,111
(3) 貸倒引当金()	4,991
(4) 貯蔵品	28,004
3 繰延資産	-
負債合計	13,546,822
1 固定負債	9,356,632
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,472,461
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	390,000
(6) 引当金	2,494,171
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,793,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	491,126
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	276,832
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,550,000
(8) 未払金及び未払費用	423,601
(9) 前受金及び前受収益	16,330
3 繰延収益	1,397,095
(1) 長期前受金	2,235,092
(2) 長期前受金収益化累計額()	837,997
資本合計	-1,681,043
1 資本金	14,714,765
2 剰余金	-16,395,808
(1) 資本金剰余金	158,157
(2) 利益剰余金	-16,553,965
負債・資本合計	11,865,779
不良債務	1,015,963
実質資金不足額	1,015,963
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,681,043
備考	283,948

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.2
修正医業収益(千円)	718,984

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	219,270	266,249
資本勘定繰入	40,619	81,239
計	259,889	347,488

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	1,015,963	17.1
平成30年度	1,085,889	19.0
平成29年度	752,786	12.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	278.8
健全化法上の資金不足額(千円)	1,015,963
健全化法上の資金不足比率(%)	17.1
地財法上の資金不足額(千円)	1,015,963
地財法上の資金不足比率(%)	17.1

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	登米市
		病院名	登米市立豊里病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,119 m ²	指定病院の状況	救 輪
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	60	59.6	63.3	59.6
療養	30	98.3	99.3	98.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	71.6	74.2	71.2
平均在院日数(一般病床のみ)		21.6	21.5	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	81,959	
決算規模(千円)	46,326,440	
標準財政規模(千円)	26,414,022	
財政力指数	0.37	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.1
	将来負担比率(%)	101.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,235,216			
1 経常収益	1,230,537			
(1) 医業収益	1,031,867			
入院収益	590,416			
外来収益	293,804			
診療収入計	884,220			
その他医業収益	147,647			
(うち他会計負担金)	103,535			
(2) 医業外収益	198,670			
(うち国・都道府県補助金)	3,303			
(うち他会計補助・負担金)	162,509			
(うち長期前受金戻入)	20,562			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	4,679			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,291,067			
2 経常費用	1,267,010			
(1) 医業費用	1,233,806			
職員給与費	654,619	63.4	55.7	72.6
材料費	105,161	10.2	24.7	15.8
(うち薬品費)	61,031	5.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,598	4.2	11.0	5.6
減価償却費	78,731	7.6	9.0	11.1
経費	390,321	37.8	23.3	31.9
(うち委託料)	119,705	11.6	11.5	13.0
研究研修費	2,747			
資産減耗費	2,227			
(2) 医業外費用	33,204			
(うち支払利息)	4,949	0.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	24,057			
損益				
経常損益	-36,473			
純損益	-55,851			
累積欠損金	848,356			
経常収支比率	97.1		97.7	97.4
医業収支比率	83.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	21.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	25.8		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	21.5		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	76.1		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,865,779
1 固定資産	10,564,268
(1) 有形固定資産	10,177,661
(2) 無形固定資産	1,288
(3) 投資その他の資産	385,319
2 流動資産	1,301,511
(1) 現金及び預金	411,162
(2) 未収金及び未収収益	782,111
(3) 貸倒引当金()	4,991
(4) 貯蔵品	28,004
3 繰延資産	-
負債合計	13,546,822
1 固定負債	9,356,632
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,472,461
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	390,000
(6) 引当金	2,494,171
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,793,095
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	491,126
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	30,000
(5) 引当金	276,832
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,550,000
(8) 未払金及び未払費用	423,601
(9) 前受金及び前受収益	16,330
3 繰延収益	1,397,095
(1) 長期前受金	2,235,092
(2) 長期前受金収益化累計額()	837,997
資本合計	-1,681,043
1 資本金	14,714,765
2 剰余金	-16,395,808
(1) 資本金剰余金	158,157
(2) 利益剰余金	-16,553,965
負債・資本合計	11,865,779
不良債務	1,015,963
実質資金不足額	1,015,963
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,681,043
備考	283,948

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.2
修正医業収益(千円)	928,332

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	213,589	266,044
資本勘定繰入	39,862	70,362
計	253,451	336,406

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	1,015,963	17.1
平成30年度	1,085,889	19.0
平成29年度	752,786	12.8

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	278.8
健全化法上の資金不足額(千円)	1,015,963
健全化法上の資金不足比率(%)	17.1
地財法上の資金不足額(千円)	1,015,963
地財法上の資金不足比率(%)	17.1

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立栗原中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,277 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪
診療科数	18	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区 分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	250	64.8	68.8	68.3
療 養	50	62.3	66.9	55.1
結 核	28	33.1	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	1	-	-	-
計	329	61.6	68.5	66.1
平均在院日数(一般病床のみ)		15.8	15.5	16.2

設立団体の状況		
人口(人)	69,906	
決算規模(千円)	44,085,479	
標準財政規模(千円)	27,193,260	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	58.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	76.0
修正医業収益(千円)	4,291,465

損益計算書 (千円・%)				
区 分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総 収 益	5,497,478			
1 経 常 収 益	5,493,711			
(1) 医 業 収 益	4,478,695			
入 院 収 益	3,026,458			
外 来 収 益	1,104,365			
診 療 収 入 計	4,130,823			
そ の 他 医 業 収 益	347,872			
(うち他会計負担金)	187,230			
(2) 医 業 外 収 益	1,015,016			
(うち国・都道府県補助金)	27,287			
(うち他会計補助・負担金)	537,034			
(うち長期前受金戻入)	85,625			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特 別 利 益	3,767			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	5,940,979			
2 経 常 費 用	5,939,599			
(1) 医 業 費 用	5,650,025			
職 員 給 与 費	2,590,390	57.8	55.7	57.0
材 料 費	860,655	19.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	304,452	6.8	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	556,203	12.4	11.0	11.3
減 価 償 却 費	429,777	9.6	9.0	9.3
経 理 費	1,745,756	39.0	23.3	22.1
(うち委託料)	559,595	12.5	11.5	11.1
研 究 研 修 費	14,837			
資 産 減 耗 費	8,610			
(2) 医 業 外 費 用	289,574			
(うち支払利息)	115,182	2.6	1.4	1.4
(3) 特 別 損 失	1,380			
損 益				
経 常 損 益	-445,888			
純 損 益	-443,501			
累 積 欠 損 金	6,809,637			
経 常 収 支 比 率	92.5		97.7	96.4
医 業 収 支 比 率	79.3		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.2		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	80.3		85.7	85.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区 分	決算額
資 産 合 計	14,054,691
1 固 定 資 産	12,232,200
(1) 有 形 固 定 資 産	12,155,500
(2) 無 形 固 定 資 産	793
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	75,907
2 流 動 資 産	1,822,491
(1) 現 金 及 び 預 金	790,791
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	961,871
(3) 貸 倒 引 当 金 ()	1,115
(4) 貯 蔵 品	70,944
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	11,573,286
1 固 定 負 債	9,736,783
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,724,917
(2) そ の 他 の 企 業 債	346
(3) 再 建 債 (特 例 債 含 む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	1,000,000
(6) 引 当 金	-
(7) リ ー ス 債 務	11,520
2 流 動 負 債	1,569,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	910,187
(2) そ の 他 の 企 業 債	343
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	270,419
(6) リ ー ス 債 務	4,607
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	382,115
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	266,702
(1) 長 期 前 受 金	549,377
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ()	282,675
資 本 合 計	2,481,405
1 資 本 金	10,828,441
2 剰 余 金	-8,347,036
(1) 資 本 剰 余 金	-
(2) 利 益 剰 余 金	-8,347,036
負 債 ・ 資 本 合 計	14,054,691
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ()	-
資本不足額(繰延収益控除後) ()	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	724,264	724,264
資本勘定繰入	402,143	402,143
計	1,126,407	1,126,407

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	栗原市
	病院名	栗原市立若柳病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,581 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	90	62.4	61.5	70.5
療養	30	75.9	73.3	81.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	65.8	64.4	73.3
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	18.3	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	69,906	
決算規模(千円)	44,085,479	
標準財政規模(千円)	27,193,260	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	58.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.5
修正医業収益(千円)	1,269,892

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,601,442			
1 経常収益	1,600,318			
(1) 医業収益	1,340,244			
入院収益	766,861			
外来収益	453,362			
診療収入計	1,220,223			
その他医業収益	120,021			
(うち他会計負担金)	70,352			
(2) 医業外収益	260,074			
(うち国・都道府県補助金)	1,299			
(うち他会計補助・負担金)	249,781			
(うち長期前受金戻入)	3,029			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,124			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,855,317			
2 経常費用	1,854,568			
(1) 医業費用	1,728,265			
職員給与費	873,019	65.1	55.7	61.3
材料費	181,853	13.6	24.7	17.6
(うち薬品費)	114,093	8.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,760	5.1	11.0	8.2
減価償却費	114,330	8.5	9.0	10.2
経費	538,987	40.2	23.3	30.5
(うち委託料)	195,634	14.6	11.5	13.0
研究研修費	2,364			
資産減耗費	17,712			
(2) 医業外費用	126,303			
(うち支払利息)	48,231	3.6	1.4	1.6
(3) 特別損失	749			
損益				
経常損益	-254,250			
純損益	-253,875			
累積欠損金	832,706			
経常収支比率	86.3		97.7	96.5
医業収支比率	77.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	23.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	20.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	69.0		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,054,691
1 固定資産	12,232,200
(1) 有形固定資産	12,155,500
(2) 無形固定資産	793
(3) 投資その他の資産	75,907
2 流動資産	1,822,491
(1) 現金及び預金	790,791
(2) 未収金及び未収収益	961,871
(3) 貸倒引当金()	1,115
(4) 貯蔵品	70,944
3 繰延資産	-
負債合計	11,573,286
1 固定負債	9,736,783
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,724,917
(2) その他の企業債	346
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	11,520
2 流動負債	1,569,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	910,187
(2) その他の企業債	343
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	270,419
(6) リース債務	4,607
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	382,115
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	266,702
(1) 長期前受金	549,377
(2) 長期前受金収益化累計額()	282,675
資本合計	2,481,405
1 資本金	10,828,441
2 剰余金	-8,347,036
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,347,036
負債・資本合計	14,054,691
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	320,133	320,133
資本勘定繰入	111,429	111,429
計	431,562	431,562

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	栗原市
				病院名	栗原市立栗駒病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	4,954 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	45	63.5	60.2	53.9
療養	30	70.7	75.2	76.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	75	66.4	66.2	62.9
平均在院日数(一般病床のみ)		23.4	22.0	21.9

設立団体の状況		
人口(人)	69,906	
決算規模(千円)	44,085,479	
標準財政規模(千円)	27,193,260	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	96.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	58.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	61.6
修正医業収益(千円)	546,425

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	803,306			
1 経常収益	803,306			
(1) 医業収益	608,433			
入院収益	383,232			
外来収益	144,136			
診療収入計	527,368			
その他医業収益	81,065			
(うち他会計負担金)	62,008			
(2) 医業外収益	194,873			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	190,124			
(うち長期前受金戻入)	2,878			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	934,904			
2 経常費用	930,301			
(1) 医業費用	887,700			
職員給与費	464,354	76.3	55.7	72.6
材料費	63,266	10.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	35,422	5.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,844	4.6	11.0	5.6
減価償却費	64,212	10.6	9.0	11.1
経費	292,576	48.1	23.3	31.9
(うち委託料)	103,108	16.9	11.5	13.0
研究研修費	925			
資産減耗費	2,367			
(2) 医業外費用	42,601			
(うち支払利息)	16,664	2.7	1.4	1.7
(3) 特別損失	4,603			
損益				
経常損益	-126,995			
純損益	-131,598			
累積欠損金	704,693			
経常収支比率	86.3		97.7	97.4
医業収支比率	68.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	31.4		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	41.4		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	31.4		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	59.2		85.7	74.2

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	14,054,691
1 固定資産	12,232,200
(1) 有形固定資産	12,155,500
(2) 無形固定資産	793
(3) 投資その他の資産	75,907
2 流動資産	1,822,491
(1) 現金及び預金	790,791
(2) 未収金及び未収収益	961,871
(3) 貸倒引当金()	1,115
(4) 貯蔵品	70,944
3 繰延資産	-
負債合計	11,573,286
1 固定負債	9,736,783
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,724,917
(2) その他の企業債	346
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,000,000
(6) 引当金	-
(7) リース債務	11,520
2 流動負債	1,569,801
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	910,187
(2) その他の企業債	343
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	270,419
(6) リース債務	4,607
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	382,115
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	266,702
(1) 長期前受金	549,377
(2) 長期前受金収益化累計額()	282,675
資本合計	2,481,405
1 資本金	10,828,441
2 剰余金	-8,347,036
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-8,347,036
負債・資本合計	14,054,691
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	252,132	252,132
資本勘定繰入	39,909	39,909
計	292,041	292,041

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	129.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	大崎市
	病院名	大崎市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	50,178 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
診療科数	43	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	494	84.6	83.4	83.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	0.1	-	1.5
計	500	83.6	82.4	82.5
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	9.5	9.6

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	66,289,911	
標準財政規模(千円)	35,978,068	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	32.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.8
修正医業収益(千円)	18,717,459

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,831,174			
1 経常収益	21,711,694			
(1) 医業収益	19,606,756			
入院収益	11,261,774			
外来収益	6,740,704			
診療収入計	18,002,478			
その他医業収益	1,604,278			
(うち他会計負担金)	889,297			
(2) 医業外収益	2,104,938			
(うち国・都道府県補助金)	79,551			
(うち他会計補助・負担金)	848,455			
(うち長期前受金戻入)	627,767			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	119,480			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,516,806			
2 経常費用	21,505,668			
(1) 医業費用	20,388,779			
職員給与費	8,064,408	41.1	55.7	49.1
材料費	6,588,862	33.6	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,946,128	20.1	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,642,734	13.5	11.0	12.7
減価償却費	1,639,305	8.4	9.0	8.4
経費	3,999,085	20.4	23.3	20.7
(うち委託料)	1,878,518	9.6	11.5	11.6
研究研修費	71,811			
資産減耗費	25,308			
(2) 医業外費用	1,116,889			
(うち支払利息)	197,788	1.0	1.4	1.2
(3) 特別損失	11,138			
損益				
経常損益	206,026			
純損益	314,368			
累積欠損金	235,390			
経常収支比率	101.0		97.7	98.8
医業収支比率	96.2		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	8.0		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	92.9		85.7	89.9

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,615,949
1 固定資産	24,311,643
(1) 有形固定資産	23,546,407
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	765,236
2 流動資産	7,304,306
(1) 現金及び預金	3,655,202
(2) 未収金及び未収収益	3,298,314
(3) 貸倒引当金()	12,690
(4) 貯蔵品	260,921
3 繰延資産	-
負債合計	23,759,163
1 固定負債	14,787,062
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,961,911
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	612,285
(7) リース債務	1,212,866
2 流動負債	3,412,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,216,947
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	648,359
(6) リース債務	135,260
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,316,467
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,559,908
(1) 長期前受金	9,769,034
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,209,126
資本合計	7,856,786
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-3,212,758
(1) 資本金剰余金	79,474
(2) 利益剰余金	-3,292,232
負債・資本合計	31,615,949
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,737,752	1,737,752
資本勘定繰入	614,584	614,584
計	2,352,336	2,352,336

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	大崎市
				病院名	大崎市民病院鳴子温泉分院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,794 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	5	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	47.0	50.4	60.9
療養	40	14.7	47.5	55.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	80	30.8	48.7	57.6
平均在院日数(一般病床のみ)		22.4	20.1	20.5

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	66,289,911	
標準財政規模(千円)	35,978,068	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	32.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	36.7
修正医業収益(千円)	306,208

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	824,700			
1 経常収益	818,752			
(1) 医業収益	345,970			
入院収益	193,634			
外来収益	103,786			
診療収入計	297,420			
その他医業収益	48,550			
(うち他会計負担金)	39,762			
(2) 医業外収益	472,782			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	366,345			
(うち長期前受金戻入)	81,853			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,948			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	864,764			
2 経常費用	864,651			
(1) 医業費用	835,181			
職員給与費	425,841	123.1	55.7	72.6
材料費	32,573	9.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	15,556	4.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	17,017	4.9	11.0	5.6
減価償却費	51,223	14.8	9.0	11.1
経費	300,279	86.8	23.3	31.9
(うち委託料)	133,067	38.5	11.5	13.0
研究研修費	1,641			
資産減耗費	23,624			
(2) 医業外費用	29,470			
(うち支払利息)	12,421	3.6	1.4	1.7
(3) 特別損失	113			
損益				
経常損益	-45,899			
純損益	-40,064			
累積欠損金	1,469,823			
経常収支比率	94.7		97.7	97.4
医業収支比率	41.4		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	49.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	117.4		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	49.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	47.7		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,615,949
1 固定資産	24,311,643
(1) 有形固定資産	23,546,407
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	765,236
2 流動資産	7,304,306
(1) 現金及び預金	3,655,202
(2) 未収金及び未収収益	3,298,314
(3) 貸倒引当金()	12,690
(4) 貯蔵品	260,921
3 繰延資産	-
負債合計	23,759,163
1 固定負債	14,787,062
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,961,911
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	612,285
(7) リース債務	1,212,866
2 流動負債	3,412,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,216,947
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	648,359
(6) リース債務	135,260
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,316,467
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,559,908
(1) 長期前受金	9,769,034
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,209,126
資本合計	7,856,786
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-3,212,758
(1) 資本金剰余金	79,474
(2) 利益剰余金	-3,292,232
負債・資本合計	31,615,949
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	406,107	406,107
資本勘定繰入	93,324	93,324
計	499,431	499,431

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	大崎市
				病院名	大崎市民病院岩出山分院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,496 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	4	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	81.9	82.5	78.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	40	81.9	82.5	78.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	18.8	19.4

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	66,289,911	
標準財政規模(千円)	35,978,068	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	32.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	66.4
修正医業収益(千円)	508,648

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	829,694			
1 経常収益	815,723			
(1) 医業収益	545,063			
入院収益	318,283			
外来収益	162,654			
診療収入計	480,937			
その他医業収益	64,126			
(うち他会計負担金)	36,415			
(2) 医業外収益	270,660			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	206,594			
(うち長期前受金戻入)	32,497			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	13,971			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	789,812			
2 経常費用	789,551			
(1) 医業費用	765,998			
職員給与費	390,286	71.6	55.7	80.8
材料費	44,972	8.3	24.7	13.8
(うち薬品費)	17,155	3.1	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,817	5.1	11.0	4.9
減価償却費	63,105	11.6	9.0	12.9
経費	264,735	48.6	23.3	47.4
(うち委託料)	101,129	18.6	11.5	20.7
研究研修費	1,831			
資産減耗費	1,069			
(2) 医業外費用	23,553			
(うち支払利息)	4,416	0.8	1.4	1.3
(3) 特別損失	261			
損益				
経常損益	26,172			
純損益	39,882			
累積欠損金	694,639			
経常収支比率	103.3		97.7	96.7
医業収支比率	71.2		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	29.8		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	44.6		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	29.3		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	72.5		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,615,949
1 固定資産	24,311,643
(1) 有形固定資産	23,546,407
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	765,236
2 流動資産	7,304,306
(1) 現金及び預金	3,655,202
(2) 未収金及び未収収益	3,298,314
(3) 貸倒引当金()	12,690
(4) 貯蔵品	260,921
3 繰延資産	-
負債合計	23,759,163
1 固定負債	14,787,062
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,961,911
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	612,285
(7) リース債務	1,212,866
2 流動負債	3,412,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,216,947
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	648,359
(6) リース債務	135,260
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,316,467
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,559,908
(1) 長期前受金	9,769,034
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,209,126
資本合計	7,856,786
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-3,212,758
(1) 資本剰余金	79,474
(2) 利益剰余金	-3,292,232
負債・資本合計	31,615,949
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	243,009	243,009
資本勘定繰入	34,370	34,370
計	277,379	277,379

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	大崎市
				病院名	大崎市民病院鹿島台分院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	4,728 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	3	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	74.4	71.3	73.0
療養	18	69.2	68.5	71.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	72.8	70.2	72.3
平均在院日数(一般病床のみ)		24.5	22.7	25.2

設立団体の状況		
人口(人)	133,391	
決算規模(千円)	66,289,911	
標準財政規模(千円)	35,978,068	
財政力指数	0.50	
経常収支比率(%)	93.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.4
	将来負担比率(%)	32.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	62.9
修正医業収益(千円)	626,508

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	998,486			
1 経常収益	995,713			
(1) 医業収益	662,801			
入院収益	381,405			
外来収益	211,161			
診療収入計	592,566			
その他医業収益	70,235			
(うち他会計負担金)	36,293			
(2) 医業外収益	332,912			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	283,958			
(うち長期前受金戻入)	17,529			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,773			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,023,365			
2 経常費用	1,023,043			
(1) 医業費用	995,577			
職員給与費	524,992	79.2	55.7	72.6
材料費	55,037	8.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	3,355	0.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,682	7.8	11.0	5.6
減価償却費	78,587	11.9	9.0	11.1
経費	334,443	50.5	23.3	31.9
(うち委託料)	125,118	18.9	11.5	13.0
研究研修費	1,369			
資産減耗費	1,149			
(2) 医業外費用	27,466			
(うち支払利息)	7,669	1.2	1.4	1.7
(3) 特別損失	322			
損益				
経常損益	-27,330			
純損益	-24,879			
累積欠損金	892,380			
経常収支比率	97.3		97.7	97.4
医業収支比率	66.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	32.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	48.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	32.1		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	66.0		85.7	74.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	31,615,949
1 固定資産	24,311,643
(1) 有形固定資産	23,546,407
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	765,236
2 流動資産	7,304,306
(1) 現金及び預金	3,655,202
(2) 未収金及び未収収益	3,298,314
(3) 貸倒引当金()	12,690
(4) 貯蔵品	260,921
3 繰延資産	-
負債合計	23,759,163
1 固定負債	14,787,062
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,961,911
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	612,285
(7) リース債務	1,212,866
2 流動負債	3,412,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,216,947
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	648,359
(6) リース債務	135,260
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,316,467
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,559,908
(1) 長期前受金	9,769,034
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,209,126
資本合計	7,856,786
1 資本金	11,069,544
2 剰余金	-3,212,758
(1) 資本金剰余金	79,474
(2) 利益剰余金	-3,292,232
負債・資本合計	31,615,949
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	316,465	320,251
資本勘定繰入	22,894	22,894
計	339,359	343,145

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	蔵王町
				病院名	蔵王町国民健康保険蔵王病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,084 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	2	看護配置	25:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	10	74.2	91.6	89.1
療養	28	97.4	95.3	96.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	38	91.3	94.4	94.7
平均在院日数(一般病床のみ)		44.9	26.8	28.2

設立団体の状況		
人口(人)	12,316	
決算規模(千円)	6,707,305	
標準財政規模(千円)	3,992,688	
財政力指数	0.49	
経常収支比率(%)	91.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	22.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	369,691			
1 経常収益	369,691			
(1) 医業収益	276,776			
入院収益	162,988			
外来収益	60,001			
診療収入計	222,989			
その他医業収益	53,787			
(うち他会計負担金)	40,741			
(2) 医業外収益	92,915			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	89,995			
(うち長期前受金戻入)	985			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	422,123			
2 経常費用	421,921			
(1) 医業費用	411,283			
職員給与費	234,141	84.6	55.7	80.8
材料費	27,770	10.0	24.7	13.8
(うち薬品費)	6,083	2.2	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	12,754	4.6	11.0	4.9
減価償却費	10,303	3.7	9.0	12.9
経費	138,457	50.0	23.3	47.4
(うち委託料)	70,028	25.3	11.5	20.7
研究研修費	187			
資産減耗費	425			
(2) 医業外費用	10,638			
(うち支払利息)	262	0.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	202			
損益				
経常損益	-52,230			
純損益	-52,432			
累積欠損金	135,519			
経常収支比率	87.6		97.7	96.7
医業収支比率	67.3		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	35.4		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	47.2		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	35.4		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	56.6		85.7	64.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	375,623
1 固定資産	148,130
(1) 有形固定資産	148,080
(2) 無形固定資産	50
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	227,493
(1) 現金及び預金	180,056
(2) 未収金及び未収収益	45,406
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	2,031
3 繰延資産	-
負債合計	65,661
1 固定負債	18,497
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,497
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	39,934
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,836
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	17,646
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	15,452
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	7,230
(1) 長期前受金	58,380
(2) 長期前受金収益化累計額()	51,150
資本合計	309,962
1 資本金	438,730
2 剰余金	-128,768
(1) 資本剰余金	6,751
(2) 利益剰余金	-135,519
負債・資本合計	375,623
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	57.4
修正医業収益(千円)	236,035

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	98,826	130,736
資本勘定繰入	3,531	4,438
計	102,357	135,174

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	49.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	川崎町
				病院名	国民健康保険川崎病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	3,631 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	5	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	30	80.6	75.5	79.4
療養	28	88.4	82.1	84.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	58	84.4	78.6	81.7
平均在院日数(一般病床のみ)		19.1	18.4	18.7

設立団体の状況		
人口(人)	9,167	
決算規模(千円)	4,900,820	
標準財政規模(千円)	3,362,024	
財政力指数	0.33	
経常収支比率(%)	94.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.9
修正医業収益(千円)	549,040

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	823,765			
1 経常収益	820,089			
(1) 医業収益	610,448			
入院収益	356,764			
外来収益	165,690			
診療収入計	522,454			
その他医業収益	87,994			
(うち他会計負担金)	61,408			
(2) 医業外収益	209,641			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	188,574			
(うち長期前受金戻入)	14,359			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,676			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	832,129			
2 経常費用	831,726			
(1) 医業費用	796,344			
職員給与費	425,664	69.7	55.7	72.6
材料費	74,300	12.2	24.7	15.8
(うち薬品費)	39,687	6.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	24,293	4.0	11.0	5.6
減価償却費	41,112	6.7	9.0	11.1
経費	253,727	41.6	23.3	31.9
(うち委託料)	93,557	15.3	11.5	13.0
研究研修費	822			
資産減耗費	719			
(2) 医業外費用	35,382			
(うち支払利息)	15,146	2.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	403			
損益				
経常損益	-11,637			
純損益	-8,364			
累積欠損金	1,314,360			
経常収支比率	98.6		97.7	97.4
医業収支比率	76.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	30.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	41.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	30.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	68.5		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	920,716
1 固定資産	802,966
(1) 有形固定資産	802,495
(2) 無形固定資産	471
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	117,750
(1) 現金及び預金	38,706
(2) 未収金及び未収収益	76,152
(3) 貸倒引当金()	542
(4) 貯蔵品	3,434
3 繰延資産	-
負債合計	708,296
1 固定負債	339,752
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	288,217
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	51,535
(7) リース債務	-
2 流動負債	147,303
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	78,148
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,816
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	31,340
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	221,241
(1) 長期前受金	511,748
(2) 長期前受金収益化累計額()	290,507
資本合計	212,420
1 資本金	1,446,468
2 剰余金	-1,234,048
(1) 資本金剰余金	80,312
(2) 利益剰余金	-1,314,360
負債・資本合計	920,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	249,982	249,982
資本勘定繰入	45,866	51,939
計	295,848	301,921

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	215.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	丸森町
				病院名	丸森町国民健康保険丸森病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,360 m ²	指定病院の状況	救臨		
診療科数	5	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	60.9	73.6	75.2
療養	35	55.7	76.9	74.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	58.8	74.9	74.9
平均在院日数(一般病床のみ)		22.9	23.4	21.5

設立団体の状況		
人口(人)	13,972	
決算規模(千円)	11,467,965	
標準財政規模(千円)	4,996,565	
財政力指数	0.30	
経常収支比率(%)	88.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.8
	将来負担比率(%)	87.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.8
修正医業収益(千円)	709,493

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	983,672			
1 経常収益	983,672			
(1) 医業収益	807,396			
入院収益	347,100			
外来収益	246,092			
診療収入計	593,192			
その他医業収益	214,204			
(うち他会計負担金)	97,903			
(2) 医業外収益	176,276			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	157,961			
(うち長期前受金戻入)	9,846			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,170,433			
2 経常費用	1,140,132			
(1) 医業費用	1,078,403			
職員給与費	455,108	56.4	55.7	72.6
材料費	81,102	10.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	25,797	3.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,104	6.7	11.0	5.6
減価償却費	66,554	8.2	9.0	11.1
経費	457,534	56.7	23.3	31.9
(うち委託料)	210,490	26.1	11.5	13.0
研究研修費	1,834			
資産減耗費	16,271			
(2) 医業外費用	61,729			
(うち支払利息)	23,930	3.0	1.4	1.7
(3) 特別損失	30,301			
損益				
経常損益	-156,460			
純損益	-186,761			
累積欠損金	112,765			
経常収支比率	86.3		97.7	97.4
医業収支比率	74.9		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	26.0		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	31.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	26.0		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	63.8		85.7	74.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,632,727
1 固定資産	1,375,704
(1) 有形固定資産	1,375,642
(2) 無形固定資産	62
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	257,023
(1) 現金及び預金	152,417
(2) 未収金及び未収収益	102,561
(3) 貸倒引当金()	800
(4) 貯蔵品	2,625
3 繰延資産	-
負債合計	912,709
1 固定負債	668,921
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	645,581
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	21,487
(7) リース債務	1,853
2 流動負債	205,389
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	101,982
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,227
(6) リース債務	2,780
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	52,305
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	38,399
(1) 長期前受金	578,716
(2) 長期前受金収益化累計額()	540,317
資本合計	720,018
1 資本金	832,783
2 剰余金	-112,765
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-112,765
負債・資本合計	1,632,727
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	299,181	255,864
資本勘定繰入	74,136	74,136
計	373,317	330,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	14.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	涌谷町
				病院名	涌谷町国民健康保険病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,569 m ²	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	12	看護配置	10:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	80	73.6	61.4	76.2
療養	41	80.0	74.3	85.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	121	75.8	65.8	79.3
平均在院日数(一般病床のみ)		20.5	20.0	18.9

設立団体の状況		
人口(人)	16,701	
決算規模(千円)	7,655,159	
標準財政規模(千円)	4,691,473	
財政力指数	0.39	
経常収支比率(%)	91.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	52.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,849,959			
1 経常収益	1,849,959			
(1) 医業収益	1,644,523			
入院収益	807,116			
外来収益	673,859			
診療収入計	1,480,975			
その他医業収益	163,548			
(うち他会計負担金)	70,888			
(2) 医業外収益	205,436			
(うち国・都道府県補助金)	112			
(うち他会計補助・負担金)	119,357			
(うち長期前受金戻入)	66,046			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,055,729			
2 経常費用	2,055,528			
(1) 医業費用	1,985,808			
職員給与費	1,009,633	61.4	55.7	61.3
材料費	447,726	27.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	362,702	22.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	65,231	4.0	11.0	8.2
減価償却費	120,500	7.3	9.0	10.2
経費	405,300	24.6	23.3	30.5
(うち委託料)	131,854	8.0	11.5	13.0
研究研修費	2,184			
資産減耗費	465			
(2) 医業外費用	69,720			
(うち支払利息)	11,467	0.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	201			
損益				
経常損益	-205,569			
純損益	-205,770			
累積欠損金	1,516,238			
経常収支比率	90.0		97.7	96.5
医業収支比率	82.8		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	80.7		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,658,221
1 固定資産	1,355,139
(1) 有形固定資産	1,353,919
(2) 無形固定資産	1,220
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	303,082
(1) 現金及び預金	58,523
(2) 未収金及び未収収益	236,521
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	8,038
3 繰延資産	-
負債合計	1,711,901
1 固定負債	630,440
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	630,440
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	628,865
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,821
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	60,628
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	81,416
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	452,596
(1) 長期前受金	962,859
(2) 長期前受金収益化累計額()	510,263
資本合計	-53,680
1 資本金	1,430,372
2 剰余金	-1,484,052
(1) 資本剰余金	32,186
(2) 利益剰余金	-1,516,238
負債・資本合計	1,658,221
不良債務	238,962
実質資金不足額	238,962
資金不足額()	53,680
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.2
修正医業収益(千円)	1,573,635

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	179,337	190,245
資本勘定繰入	64,557	67,557
計	243,894	257,802

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	238,962	14.5
平成30年度	33,548	2.1
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	92.2
健全化法上の資金不足額(千円)	200,386
健全化法上の資金不足比率(%)	12.1
地財法上の資金不足額(千円)	238,962
地財法上の資金不足比率(%)	14.5

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	美里町
				病院名	美里町立南郷病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	2,899 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	5	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	74.6	82.5	74.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	74.6	82.5	74.4
平均在院日数（一般病床のみ）		41.1	44.0	36.1

設立団体の状況		
人口（人）	24,852	
決算規模（千円）	11,126,347	
標準財政規模（千円）	6,903,034	
財政力指数	0.43	
経常収支比率（%）	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.3
	将来負担比率（%）	37.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	67.8
修正医業収益（千円）	421,631

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	650,590			
1 経常収益	650,590			
(1) 医業収益	457,925			
入院収益	232,161			
外来収益	140,706			
診療収入計	372,867			
その他医業収益	85,058			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	192,665			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	163,706			
(うち長期前受金戻入)	28,561			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	653,327			
2 経常費用	652,985			
(1) 医業費用	621,861			
職員給与費	273,707	59.8	55.7	72.6
材料費	65,594	14.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	37,049	8.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	28,545	6.2	11.0	5.6
減価償却費	51,403	11.2	9.0	11.1
経費	229,332	50.1	23.3	31.9
(うち委託料)	72,339	15.8	11.5	13.0
研究研修費	333			
資産減耗費	1,492			
(2) 医業外費用	31,124			
(うち支払利息)	15,363	3.4	1.4	1.7
(3) 特別損失	342			
損益				
経常損益	-2,395			
純損益	-2,737			
累積欠損金	499,429			
経常収支比率	99.6		97.7	97.4
医業収支比率	73.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	30.7		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	43.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	30.7		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	69.0		85.7	74.2

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,040,955
1 固定資産	802,394
(1) 有形固定資産	802,394
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	238,561
(1) 現金及び預金	180,007
(2) 未収金及び未収収益	55,558
(3) 貸倒引当金（ ）	44
(4) 貯蔵品	2,914
3 繰延資産	-
負債合計	625,564
1 固定負債	329,827
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	327,571
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	2,256
2 流動負債	155,587
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	101,281
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	20,485
(6) リース債務	1,128
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	30,409
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	140,150
(1) 長期前受金	307,219
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	167,069
資本合計	415,391
1 資本金	914,820
2 剰余金	-499,429
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-499,429
負債・資本合計	1,040,955
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	201,903	200,000
資本勘定繰入	61,330	61,330
計	263,233	261,330

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	109.1
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	宮城県
		市町村・組合名	女川町
		病院名	女川町立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	6,334	
決算規模（千円）	33,591,019	
標準財政規模（千円）	3,584,742	
財政力指数	1.04	
経常収支比率（%）	84.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	3.1
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,548			
1 経常収益	5,548			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	5,548			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,548			
2 経常費用	5,548			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	-	-	9.0	11.1
経費	-	-	23.3	31.9
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	5,548			
(うち支払利息)	5,548	-	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	97.4
医業収支比率	-		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	-		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	100.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	南三陸町
				病院名	南三陸病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	8,554 m ²	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	10	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	73.8	79.5	90.7
療養	50	95.3	96.5	100.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	85.7	89.0	95.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	11.7	13.0

設立団体の状況		
人口(人)	12,370	
決算規模(千円)	27,635,592	
標準財政規模(千円)	5,186,733	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	96.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,855,563				
1 経常収益	1,855,563				
(1) 医業収益	1,341,070				
入院収益	746,850				
外来収益	485,392				
診療収入計	1,232,242				
その他医業収益	108,828				
(うち他会計負担金)	58,000				
(2) 医業外収益	514,493				
(うち国・都道府県補助金)	422				
(うち他会計補助・負担金)	242,000				
(うち長期前受金戻入)	260,316				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,002,007				
2 経常費用	2,002,007				
(1) 医業費用	1,872,446				
職員給与費	848,155	63.2	55.7	72.6	
材料費	178,996	13.3	24.7	15.8	
(うち薬品費)	61,933	4.6	13.3	9.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	100,273	7.5	11.0	5.6	
減価償却費	290,360	21.7	9.0	11.1	
経費	551,219	41.1	23.3	31.9	
(うち委託料)	223,745	16.7	11.5	13.0	
研究研修費	3,716				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	129,561				
(うち支払利息)	2,590	0.2	1.4	1.7	
(3) 特別損失	-				
損益					
経常損益	-146,444				
純損益	-146,444				
累積欠損金	3,349,590				
経常収支比率	92.7		97.7	97.4	
医業収支比率	71.6		88.1	75.6	
他会計繰入金対経常収益比率	16.2		12.3	23.8	
他会計繰入金対医業収益比率	22.4		14.5	32.6	
他会計繰入金対総収益比率	16.2		12.4	23.9	
実質収益対経常費用比率	77.7		85.7	74.2	

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,652,453
1 固定資産	4,369,563
(1) 有形固定資産	4,199,627
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	169,936
2 流動資産	282,890
(1) 現金及び預金	91,428
(2) 未収金及び未収収益	186,308
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,154
3 繰延資産	-
負債合計	4,847,218
1 固定負債	216,081
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	214,481
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	1,600
2 流動負債	110,754
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	31,467
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	2,677
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	76,610
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,520,383
(1) 長期前受金	5,945,527
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,425,144
資本合計	-194,765
1 資本金	3,127,075
2 剰余金	-3,321,840
(1) 資本金剰余金	27,750
(2) 利益剰余金	-3,349,590
負債・資本合計	4,652,453
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	194,765
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.5
修正医業収益(千円)	1,283,070

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	300,000	300,000
資本勘定繰入	1,715	37,695
計	301,715	337,695

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	249.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	42,345
地財法上の資金不足比率(%)	3.1

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	白石市外二町組合
				病院名	公立刈田総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,164 m ²	指定病院の状況	救感災輪		
診療科数	19	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	60.6	59.7	62.6
療養	-	-	-	-
結核	4	-	0.3	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	0.1	0.2
計	308	59.0	58.1	61.0
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	16.2	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,993	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	100.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.8
修正医業収益(千円)	4,336,810

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,921,042			
1 経常収益	4,872,747			
(1) 医業収益	4,608,915			
入院収益	2,799,993			
外来収益	1,340,941			
診療収入計	4,140,934			
その他医業収益	467,981			
(うち他会計負担金)	272,105			
(2) 医業外収益	263,832			
(うち国・都道府県補助金)	10,235			
(うち他会計補助・負担金)	156,546			
(うち長期前受金戻入)	27,726			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	48,295			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,763,015			
2 経常費用	5,763,015			
(1) 医業費用	5,436,117			
職員給与費	2,631,363	57.1	55.7	57.0
材料費	637,637	13.8	24.7	24.5
(うち薬品費)	265,881	5.8	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	371,756	8.1	11.0	11.3
減価償却費	436,466	9.5	9.0	9.3
経費	1,711,751	37.1	23.3	22.1
(うち委託料)	640,562	13.9	11.5	11.1
研究研修費	13,796			
資産減耗費	5,104			
(2) 医業外費用	326,898			
(うち支払利息)	169,702	3.7	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-890,268			
純損益	-841,973			
累積欠損金	14,966,808			
経常収支比率	84.6		97.7	96.4
医業収支比率	84.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	8.7		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	77.1		85.7	85.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,287,177
1 固定資産	5,510,912
(1) 有形固定資産	5,431,740
(2) 無形固定資産	2,029
(3) 投資その他の資産	77,143
2 流動資産	1,776,265
(1) 現金及び預金	1,033,477
(2) 未収金及び未収収益	675,811
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	66,977
3 繰延資産	-
負債合計	9,983,288
1 固定負債	6,603,190
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,915,749
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	600,000
(6) 引当金	43,972
(7) リース債務	43,469
2 流動負債	2,878,988
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	761,237
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	181,617
(6) リース債務	24,654
(7) 一時借入金	1,660,000
(8) 未払金及び未払費用	220,422
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	501,110
(1) 長期前受金	1,269,724
(2) 長期前受金収益化累計額()	768,614
資本合計	-2,696,111
1 資本金	12,240,907
2 剰余金	-14,937,018
(1) 資本金剰余金	1,050
(2) 利益剰余金	-14,938,068
負債・資本合計	7,287,177
不良債務	341,486
実質資金不足額	341,486
資金不足額()	2,696,111
資本不足額(繰延収益控除後)()	2,195,001
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	548,932	428,651
資本勘定繰入	478,658	260,397
計	1,027,590	689,048

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	341,486	7.4
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	324.7
健全化法上の資金不足額(千円)	341,486
健全化法上の資金不足比率(%)	7.4
地財法上の資金不足額(千円)	341,486
地財法上の資金不足比率(%)	7.4

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	宮城県
	市町村・組合名	黒川地域行政事務組合
	病院名	公立黒川病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	10,025 m ²	指定病院の状況	救臨 へ
診療科数	17	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	110	56.2	59.8	69.6
療養	60	72.5	69.3	82.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	62.0	63.2	74.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	12.3	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	2,263,040	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	85.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.3
修正医業収益(千円)	2,716,867

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,949,534			
1 経常収益	2,949,532			
(1) 医業収益	2,726,867			
入院収益	1,440,582			
外来収益	1,148,700			
診療収入計	2,589,282			
その他医業収益	137,585			
(うち他会計負担金)	10,000			
(2) 医業外収益	222,665			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	178,257			
(うち長期前受金戻入)	43,339			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,127,848			
2 経常費用	3,127,700			
(1) 医業費用	3,078,568			
職員給与費	4,247	0.2	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	217,279	8.0	9.0	10.2
経費	2,854,543	104.7	23.3	30.5
(うち委託料)	2,796,422	102.6	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	2,499			
(2) 医業外費用	49,132			
(うち支払利息)	49,132	1.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	148			
損益				
経常損益	-178,168			
純損益	-178,314			
累積欠損金	3,400,781			
経常収支比率	94.3		97.7	96.5
医業収支比率	88.6		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	6.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	6.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	88.3		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,547,605
1 固定資産	3,597,092
(1) 有形固定資産	3,597,092
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	950,513
(1) 現金及び預金	35,747
(2) 未収金及び未収収益	454,766
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,923,898
1 固定負債	1,593,851
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,585,018
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	8,833
(7) リース債務	-
2 流動負債	797,133
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	359,800
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	7,861
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	400,000
(8) 未払金及び未払費用	29,472
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	532,914
(1) 長期前受金	807,919
(2) 長期前受金収益化累計額()	275,005
資本合計	1,623,707
1 資本金	5,024,488
2 剰余金	-3,400,781
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,400,781
負債・資本合計	4,547,605
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	62,162	188,257
資本勘定繰入	208,859	325,572
計	271,021	513,829

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	124.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	加美郡保健医療福祉行政事務組合
				病院名	公立加美病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	7,804 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	8	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	40	71.6	79.9	76.5
療養	50	87.6	92.5	79.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	80.5	86.9	78.0
平均在院日数(一般病床のみ)		19.6	20.4	19.6

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	893,964	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	100.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	65.4
修正医業収益(千円)	861,964

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,312,628			
1 経常収益	1,312,628			
(1) 医業収益	916,755			
入院収益	520,837			
外来収益	260,191			
診療収入計	781,028			
その他医業収益	135,727			
(うち他会計負担金)	54,791			
(2) 医業外収益	395,873			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	315,226			
(うち長期前受金戻入)	79,292			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,375,423			
2 経常費用	1,375,423			
(1) 医業費用	1,317,957			
職員給与費	750,376	81.9	55.7	72.6
材料費	103,341	11.3	24.7	15.8
(うち薬品費)	34,964	3.8	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	65,885	7.2	11.0	5.6
減価償却費	84,508	9.2	9.0	11.1
経費	376,149	41.0	23.3	31.9
(うち委託料)	155,121	16.9	11.5	13.0
研究研修費	1,577			
資産減耗費	2,006			
(2) 医業外費用	57,466			
(うち支払利息)	26,233	2.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-62,795			
純損益	-62,795			
累積欠損金	1,933,151			
経常収支比率	95.4		97.7	97.4
医業収支比率	69.6		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	28.2		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	40.4		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	28.2		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	68.5		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,685,122
1 固定資産	1,530,399
(1) 有形固定資産	1,529,960
(2) 無形固定資産	439
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	154,723
(1) 現金及び預金	24,517
(2) 未収金及び未収収益	117,499
(3) 貸倒引当金()	2,485
(4) 貯蔵品	15,192
3 繰延資産	-
負債合計	2,018,963
1 固定負債	1,064,760
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,064,760
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	349,006
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	166,345
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	54,117
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	45,000
(8) 未払金及び未払費用	83,544
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	605,197
(1) 長期前受金	1,901,169
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,295,972
資本合計	-333,841
1 資本金	1,519,869
2 剰余金	-1,853,710
(1) 資本金剰余金	79,441
(2) 利益剰余金	-1,933,151
負債・資本合計	1,685,122
不良債務	27,938
実質資金不足額	27,938
資金不足額()	333,841
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	460,892	370,017
資本勘定繰入	108,281	175,282
計	569,173	545,299

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	27,938	3.0
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	210.9
健全化法上の資金不足額(千円)	27,938
健全化法上の資金不足比率(%)	3.0
地財法上の資金不足額(千円)	27,938
地財法上の資金不足比率(%)	3.0

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	宮城県
				市町村・組合名	みやぎ県南中核病院企業団
				病院名	みやぎ県南中核病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	26,364 m ²	指定病院の状況	救臨へ災地輪		
診療科数	33	看護配置	7:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	310	75.2	74.3	74.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	310	75.2	74.3	74.1
平均在院日数（一般病床のみ）		9.6	10.0	11.7

設立団体の状況		
人口（人）	-	
決算規模（千円）	-	
標準財政規模（千円）	-	
財政力指数	-	
経常収支比率（%）	-	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	-
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,028,578			
1 経常収益	9,028,239			
(1) 医業収益	8,387,947			
入院収益	5,132,153			
外来収益	2,479,841			
診療収入計	7,611,994			
その他医業収益	775,953			
(うち他会計負担金)	471,468			
(2) 医業外収益	640,292			
(うち国・都道府県補助金)	97,010			
(うち他会計補助・負担金)	386,473			
(うち長期前受金戻入)	62,326			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	339			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,694,846			
2 経常費用	9,690,648			
(1) 医業費用	9,056,120			
職員給与費	4,421,522	52.7	55.7	57.0
材料費	1,927,337	23.0	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,000,764	11.9	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	926,573	11.0	11.0	11.3
減価償却費	517,265	6.2	9.0	9.3
経費	2,146,183	25.6	23.3	22.1
(うち委託料)	1,008,743	12.0	11.5	11.1
研究研修費	36,847			
資産減耗費	6,966			
(2) 医業外費用	634,528			
(うち支払利息)	184,684	2.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	4,198			
損益				
経常損益	-662,409			
純損益	-666,268			
累積欠損金	14,948,587			
経常収支比率	93.2		97.7	96.4
医業収支比率	92.6		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.2		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	84.3		85.7	85.3

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	9,982,125
1 固定資産	8,324,260
(1) 有形固定資産	8,266,520
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	57,740
2 流動資産	1,657,865
(1) 現金及び預金	190,191
(2) 未収金及び未収収益	1,288,418
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	179,256
3 繰延資産	-
負債合計	12,205,378
1 固定負債	7,643,719
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,634,299
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	9,420
2 流動負債	3,451,619
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	847,442
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	265,588
(6) リース債務	22,114
(7) 一時借入金	1,010,000
(8) 未払金及び未払費用	1,306,475
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,110,040
(1) 長期前受金	1,842,562
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	732,522
資本合計	-2,223,253
1 資本金	12,708,601
2 剰余金	-14,931,854
(1) 資本金剰余金	16,733
(2) 利益剰余金	-14,948,587
負債・資本合計	9,982,125
不良債務	946,312
実質資金不足額	946,312
資金不足額（ ）	2,223,253
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	1,113,213
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	87.4
修正医業収益（千円）	7,916,479

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,210,711	857,941
資本勘定繰入	460,246	700,047
計	1,670,957	1,557,988

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	946,312	11.3
平成30年度	794,868	9.9
平成29年度	659,071	8.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	178.2
健全化法上の資金不足額（千円）	946,312
健全化法上の資金不足比率（%）	11.2
地財法上の資金不足額（千円）	946,312
地財法上の資金不足比率（%）	11.2

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。